

特定非営利活動法人 Global Bridge Network

平成 30 年度 事業活動報告書

1. 活動期間:2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

2. 事業の成果:

国際支援事業として、アフリカ・ウガンダにて平成 29 年度より実施している「女子生徒の教育環境改善」、「環境保全と地域活性化」の2つの事業の2期目を、株式会社ラッシュジャパン様、地球環境基金様からの助成金により、実施することができた。両事業はウガンダの現地のパートナー団体 SORAK と協力しながら進め、今年度は前年度以上の成果を上げることができた。

また、国際交流促進事業として、「Sanyu!_第2弾」のイベントを東京にて実施し、Global Bridge Network (GBN) の活動紹介をはじめ、アフリカの音楽・太鼓・ダンスなどを通して一般の方々に楽しんでもらいながらウガンダの文化について学んでもらう機会を提供した。また、練馬区からの招待で練馬区主催のイベントに出展したり、ソーシャルスタンド¹様でウガンダ国や文化について紹介したりする機会を得た。

本年度は練馬区をはじめ多方面の方々からの声かけがあり、徐々に GBN の活動が認知されてきたことを実感しつつ、活動を継続することができた。

3. 実施した事業の内容

主な事業は「国際支援事業」、「国際交流促進事業」の 2 本柱であり、以下にその活動内容の詳細を述べる。

① 国際支援事業

1) 女子生徒の教育環境改善

ウガンダでは、女子生徒が生理期間中に通学出来なくなるという問題が発生している。貧困のため生理用品を購入できず、古着等の代替品を使用し、衣服に漏れて男子生徒にからかわれてしまう、あるいは、代替品が不衛生であるため病気に感染するなどの理由で、通学出来ずに勉強についていけなくなり、さらに退学してしまうなど、女子生徒の教育環境には様々な課題がある。

今年度は学校のクラブ活動として生徒から成る「月経衛生クラブ」を設立し、学校教員の協力の下、生徒から生徒へ布ナプキンの作成トレーニング、月経の衛生管理、ジェンダー啓発、性教育を実施した。クラブ活動として実施することにより、本活動を継続的に学校に根付かせることができた。また、昨年設立した現地のパートナー団体 SORAK の作業所にて、生理用布ナプキン「Happy Pad」の生産・販売をスタートした。商品化した Happy Pad は緑のポーチに布ナプキン2個入りのセットで、貧困層が購入できる価格で販売することで、より広

¹ <https://charity-japan.com/>

範囲に布ナプキンを普及し使用率を高め、多くの女子生徒が生理中に学校に通えるようになった。また、啓発を目的とした地域での会合やラジオトークショーにより、プロジェクトサイト地、ムベンデ県だけでなく周辺地域からも多くの問合せ（ナプキンを購入したい、トレーニングを実施してほしいなど）を受け、まだまだニーズがあることが分かった。本事業が広がることで、より多くの女子生徒が学校に通い、きちんと教育を継続して受けることができれば、女性の社会的・経済的な自立にもつながり、将来的に非常に大きなインパクトを生むと期待している。（※各活動報告、終了時インパクト調査レポートは GBN の HP より参照可 <http://globalbridgenetwork.org/works/>）

- 事業名:ウガンダ共和国で生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業
- 実施期間:2018年3月1日~2018年12月31日
- 実施場所:ウガンダ・ムベンデ県
- 受益者:約1,540名以上(女子・男子生徒、教員、保護者、地域住民など)
- 支出額:77万円



生理用布ナプキン作成トレーニング



月経衛生クラブのメンバー選抜



「月経時の衛生管理」セッション



「ジェンダー啓発・性教育」セッション



クラブメンバーのセッションを受講する生徒達



保護者・地域住民への啓発



ラジオトークショーでの啓発



生理用布ナプキン生産の様子



「Happy Pads」を受け取る生徒達

2)環境保全と地域活性化

ウガンダのムベンデ県では過去 2 年間で連続して干ばつが起きており、森林伐採、耕作農業のための湿地帯への侵入など、人々の手による環境破壊が深刻な問題となっている。人口の多くを占める若年層や、女性は特に収入源が限られ生活に困窮しているが、気候変動による影響やその原因を理解していない。高い失業率そして生計を立てられない人々が耕作地を求めた結果、こうした環境破壊へと繋がっている。



住民が畑を燃やしている



埋め立てられた湿地帯



岩の間にも育つレモングラス

今年度で 2 期目となる本事業は、パートナー団体である現地 NGO SORAK により、引き続きレモングラス栽培を通じた環境保全事業を実施した。干ばつで痩せた土地にレモングラスを栽培することは、土壌の浸食を防ぎ、環境に良いとされている。

本事業では、女性・青少年を対象に環境保全・レモングラス栽培トレーニング、地域の学校の児童を対象に環境教育・啓発キャンペーン、また生徒達による環境保全クラブを結成し、植林活動、環境濫用・破壊の監視・報告の自発的な行動を促す研修を実施した。また、地方政府(準郡の代表たち)と地域の環境濫用の監視、規制や法の施行に向けた会議を実施した。さらに、近隣農家が栽培・収穫したレモングラス 120 トンを買取り、SORAK が所有する蒸留機を用い、レモングラスのエッセンシャルオイルを生産・販売し、近隣農家の収入向上に寄与した。更に使用済みレモングラスなどの有機物をブリケット炭の原料として再利用するためにブリケット炭生産設備を建設し、使用済みレモングラスなどの有機廃棄物 60 トンを収集・それを用いた炭生産を開始した。

成果として、女性、青少年による継続的なレモングラスの栽培、対象校における子どもたちの植林活動などを通して、女性・青少年・子どもたちが環境保全に積極的に関わり、意識が向

上した。また、地方政府や県レベルの指導者は不毛な土地や湿地帯の保護に対する関心をより強めるようになり、湿地帯への侵入の減少と環境に関する意識強化につながった。今期の活動により、かつて不毛だった土地が、レモングラス栽培などにより利用できる土地になった(12 エーカーほど)。

本事業は、地球環境基金様からの助成金により実施され、GBN は SORAK が実施する事業を代理団体としてサポートした。(※各活動報告レポートは GBN の HP より参照可)

- 事業名:レモングラスの栽培拡大と環境教育による環境保全事業(ウガンダ共和国)
- 実施期間:2018年4月1日~2019年3月31日
- 実施場所:ウガンダ・ムベンデ県およびチェゲグワ県
- 受益者:約 8,500 名以上 (女性・青少年、学校の児(16 校)、地域関係者、周辺地域の農家など)
- 支出額:300 万円



青少年への環境保全・レモングラス栽培トレーニング



学校の児童に環境教育・啓発トレーニング



環境教育・啓発トレーニングを受ける生徒たち



演劇で環境悪化を表現する環境保全クラブ



環境保全クラブによる植林活動



苗木を運ぶ生徒達



地方政府の役員と環境モニタリング



地域住民に環境の法について説明する警察官



ブリケット炭生産

② 国際交流促進事業

1) イベント「Sanyu!_第2弾_」の開催

東京都の浜松町カラバッシュ(アフリカンレストラン)でアフリカのイベント「Sanyu!_第2弾」を開催した。当団体の活動紹介、ウガンダの文化紹介をはじめ、アフリカの太鼓ジャンベの演奏と合わせたアフリカンダンスショー、ライブペイントショー、最後にウガンダの音楽に合わせてダンスを来場者の方たちと踊るプログラムで実施した。多くのウガンダの方々にもお手伝いいただき、盛況なイベントとなった。

協力者は以下のとおり。

- ・協賛: 在日ウガンダ人の会(Uganda Diaspora Japan)
- ・コーディネート: STUDIO BARJA(アフリカンスタイルダンス)
- ・出演: -アフリカンダンス STUDIO BARJARA DANCERS
-アフリカンたいこ教室 Djembe Players
-アーティスト TEEJ

(日時:2018年6月9日 18:30~21:30、場所:東京・浜松町、参加人数:約40名)



GBNの活動紹介



ウガンダの文化紹介



アフリカンたいこ教室 Djembe Players



クイズセッション



TEEJさんのライブペイント



太鼓に合わせたアフリカンダンス



参加者全員でウガンダの音楽とダンス

2) イベント「ソーシャルスタンド #42 ウガンダを知る、考える」の開催

ソーシャルスタンド様との共同で「ソーシャルスタンド #42 ウガンダを知る、考える」を開催した。ウガンダのことを知ってもらうことを目的に、2名のウガンダ人ゲストと共に、ウガンダについて(ウガンダの基本情報から人々の生活、文化、課題、お勧めスポットなど)を紹介し、参加者の方々からの質問にも答える形の少人数制で開催した。

(日時:2018年12月2日14:00~16:00、場所:東京・四谷、参加人数:約6名)



イベントの様子



参加者の質問に答えている様

3) 練馬区のイベントに参加

11月24日、25日の2日間開催された練馬区主催のイベント「世界都市農業サミット・プレイイベント「ワールドマーケット」」に参加した。また2019年3月10日に開催された Nerima 若手 Chefs Club が主催する食のイベント「味ストロ練馬～プランタン～練馬」にもブースにて参加した。



出展の様子



味ストロ練馬～プランタン

(日時:2018年11月、2019年3月 場所:東京練馬区ココネリ、来場社:不特定多数)

法人名： NPO法人Global Bridge Network

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	626,694		
流動資産合計		626,694	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			626,694
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		791,824	
当期正味財産増減額		△ 165,130	
正味財産合計			626,694
負債及び正味財産合計			626,694